

栃木県職員ガイド

求む、元気人!



2015採用版





知事メッセージ

栃木県は平成25年に誕生140年の節目を迎えました。奥日光や那須高原などに代表される豊かな自然と、日本最古の総合大学といわれる足利学校をはじめとする数々の歴史的文物を有する本県は、これらの地域資源を守り伝えながら、様々な産業をバランスよく発展させ、1人当たりの県民所得が全国第6位となるなど有力県としての地位を占めるまでになりました。

私は、こうした誇れるふるさと“とちぎ”を、魅力と活力ある地域として未来に引き継ぎ、子どもたちが夢と希望を描くことができるよう全力で取り組んでいるところです。

とちぎの未来づくりには、チャレンジ精神と柔軟な発想にあふれた人材が必要です。私たちと共に「元気度 日本一 栃木県」の実現に向け汗を流しませんか。

平成25年12月

栃木県知事 福田 富一

CONTENTS

1	知事メッセージ／このガイドの内容
2	栃木県が求める人材／プロジェクト紹介
3	栃木県庁の組織／職員数・組織数
4	栃木県職員職種一覧
職員紹介	
5	新人職員に聞きました／職種についてのアドバイス
6	行政
7	薬剤師、化学、農業、畜産
8	総合土木、林業、建築
9	心理、保健師、獣医師、警察行政
10	インターンシップ／研修制度
県庁の人事制度Q&A	
11	給与、勤務時間、休暇、子育て支援、福利厚生
12	配属先、異動、派遣、職員公募制、昇任
13	採用試験受験の手引き 受験資格、受験手続
14	採用までの流れ フロー／試験種目・配点等
15	採用試験等の実施状況／問い合わせ先

このガイドの内容

このガイドは、栃木県職員採用試験の受験を検討している皆さんに、県職員の業務内容など職業としての魅力と、給与などの処遇面を紹介するとともに、受験の手続について説明するものです。

どんな仕事なのか知りたい

給与や配属などについて知りたい

採用試験について知りたい

さらに詳しく知りたい

栃木県が求める人材

高い意欲と実行力を備えた
「挑戦する職員」

栃木県職員としての使命感を持った
「信頼される職員」

県民起点の発想で、県民と連携協力できる
「協働する職員」

こうした職員の力を結集し、栃木県では様々なプロジェクトが進められています。
その中の一つを紹介します。

プロジェクト紹介 とちぎサンシャインプロジェクト



土木

松本 茂

Shigeru Matsumoto

環境森林部 地球温暖化対策課
再生可能エネルギーチーム
平成2年度採用

異動経歴

平成2年 栃木県採用 佐野土木事務所
その後、松田川ダム建設事務所、建設省土木研究所、
土木部河川課等を経て、
平成12年4月から 建設省関東地方建設局
平成15年 栃木県に復帰 土木部河川課
日光土木事務所、県土整備部砂防排水資源課等を経て、
平成25年度から現所属

🍓 「とちぎサンシャインプロジェクト」について教えてください。

様々な産業が関連し経済的効果の波及が期待できる太陽光発電を普及させることにより、エネルギーの地産地消を進めるとともに、災害に強い地域づくりを目指すプロジェクトです。

メガソーラーを設置する発電事業者と土地所有者をマッチングする事業や、民間の発電事業者にも有施設の屋根を貸す「屋根貸し」事業、さらに住宅用太陽光発電設備の設置支援や太陽光発電施設を設置する中小企業向けの長期低利の融資制度など、県は様々な取組を行っています。

🍓 メガソーラーとはどういうものですか。

出力1000kWを超える太陽光発電施設のことです。施設の設置を促進することは、温室効果ガスの排出抑制につながり、地球温暖化対策として極めて有効です。また、未利用地等を有効活用できるというメリットもあります。

栃木県内では、平成25年6月末現在、具体的に計画が進んでいる案件が123件あり、このうち14件で発電を開始しています。発電を行っている件数では、本県は全国5位です。

🍓 どんなところにやりがいを感じますか。

太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーの普及拡大は、前例のない喫緊の課題です。進むべき方向を模索しながら、スピード感を持って形にしていかなければならず、やりがいを感じる反面、プレッシャーも感じます。

しかし、この県政の重要な課題について、チームのメンバーと一緒に取り組んでいることは誇りであり、また仕事を通して新しいことにチャレンジできることに感謝しています。

🍓 県職員を目指している方にメッセージをお願いします。

仕事を進める中では、精神的・肉体的につらいこともありますが、それでも前へ進むためには、栃木県を愛し、プロの職業人としての自覚を持つことが大切です。

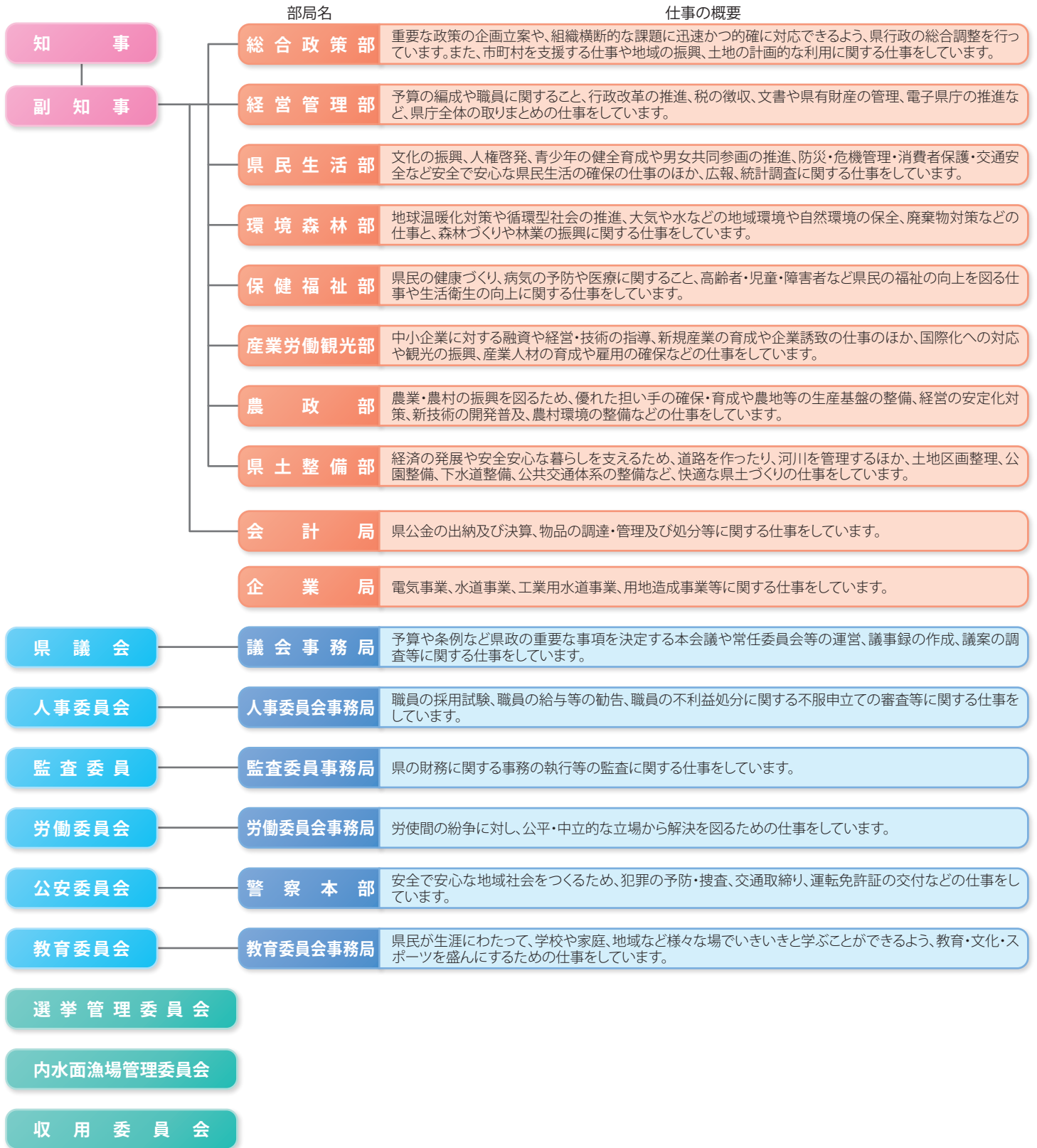
職業を真剣に考えることは、簡単なことではありませんが、一人でも多くの皆さんが栃木県庁を選択されることを願ってやみません。





部局ごとの仕事の内容をチェック!

栃木県庁の組織



職員数・組織数 (平成25年4月1日現在)

●職員数

一般行政部門……4,406人	教育部門……15,372人
警察部門……3,746人	公営企業部門……835人

●組織数(知事の事務部局)

本庁 …………… 8部1局63課室
出先機関 …………… 76

主な職種を掲載しています！
年度によって募集を行わない職種もありますので注意してください。



栃木県職員職種一覧

職 種 (職員数 H25.4.1現在)	主な業務内容	主な勤務場所	
P6に掲載 行政 (2,686人)	各種施策の企画立案や事業の推進、予算編成・執行、庶務、県税の賦課徴収、公共事業用地の買収交渉、許認可、市町指導など、様々な分野で幅広い業務に従事します。	知事部局・教育委員会事務局・企業局等の本庁各課、出先機関、県立学校	
P7に掲載 薬剤師 (96人)	県立病院での薬の調剤や患者への服薬指導、食品衛生・薬事衛生のための調査研究・試験検査などを担当しています。	薬務課、健康福祉センター、保健環境センター、県立病院	
P7に掲載 化学 (102人)	産業廃棄物や地球温暖化などの環境問題に関する企画立案や指導、水質・大気の常時監視や検査を行うほか、地域企業に密着した各種の研究業務を行います。	環境森林政策課、地球温暖化対策課、環境保全課、廃棄物対策課、環境森林事務所、保健環境センター、産業技術センター	
P7に掲載 農業 (348人)	優れた農作物栽培技術の開発・普及や、バイオテクノロジーを駆使した米や野菜、果樹、花きなどの試験研究、農業施策の企画立案とその推進にあたります。	農政部各課、農業振興事務所、農業試験場、農業大学校	
P7に掲載 畜産 (65人)	畜産振興施策の企画立案や、生産技術指導、試験研究機関での技術研究のほか、堆肥等の資源循環システムづくりによる循環型社会形成の一翼を担っています。	畜産振興課、農業振興事務所、畜産酪農研究センター	
P8に掲載 林業 (193人)	森林資源を維持し、林業の基盤づくりや県産材の利用促進、しいたけなどの特用林産物生産振興などのほか、貴重な自然環境の保全などの仕事をします。	環境森林政策課、自然環境課、林業振興課、森林整備課、環境森林事務所、林業センター	
P8に掲載 総合土木 (18人)	平成24年度から、それまでの「農業土木」と「土木」を統合した「総合土木」という区分により採用試験を実施しています。採用された者は、主に下の「農業土木」又は「土木」の業務に従事します。	主に下の「農業土木」又は「土木」の勤務場所に勤務します	
	農業土木 (140人)	農業の生産性向上や豊かな農業農村空間の形成のため、ほ場整備や農道、かんがい排水設備、農村下水道の建設、農村環境整備などに取り組んでいます。	農村振興課、農地整備課、農業振興事務所
	土木 (478人)	道路・河川の整備や保全、街路・下水道事業の推進や、区画整理や開発行為などの都市計画上の指導・認可を行うなど、社会資本形成の一翼を担っています。	県土整備部各課、土木事務所、公園事務所、下水道管理事務所
P8に掲載 建築 (75人)	市街地の再開発など都市機能の向上に関する施策や、県有施設建設の設計・施工・監理や営繕業務、建築指導などに携わります。	建築課、住宅課、都市計画課、土木事務所	
電気 (85人)	電気・水道事業の推進や、発電所や水道施設などの電気設備の運転・保守管理業務のほか、地域企業向けの研究業務、県有施設の営繕業務を行います。	企業局電気課・水道課、水道事務所、今市発電管理事務所、産業技術センター、建築課、土木事務所	
機械 (56人)	県有施設の設備の設計や営繕などの維持管理のほか、試験研究機関での技術研究や産業技術専門学校において技術者の育成などを行います。	建築課、計量検定所、産業技術センター、産業技術専門学校	
P9に掲載 心理 (47人)	児童相談所、福祉施設などにおいて児童、障害者、保護者などに対し「心のケア」の面から相談、指導、心理判定などの業務に従事します。	児童相談所、精神保健福祉センター、とちぎリハビリテーションセンター	
水産 (15人)	水産業振興のための企画立案や、養殖生産技術の研究・開発、良好な水域環境及び生態系の保全技術確立のための研究などを行います。	生産振興課、水産試験場	
P9に掲載 保健師 (121人)	地域のニーズに応じた健康相談、健康教育、各種指導等を企画立案し、実施します。県民の心と身体の健康を守る仕事です。	保健福祉課、健康増進課、健康福祉センター、衛生福祉大学校、県立病院	
臨床検査技師 (56人)	病院で臨床検査に従事するほか、健康福祉センターや研究機関において、水質検査や食品検査など公衆衛生に関する検査を行います。	県立病院、健康福祉センター、保健環境センター	
理学療法士 (19人)	障害のある人に運動療法や物理療法、作業療法を通したリハビリテーションを行います。さらに、福祉機器の使用訓練や住宅改造指導などにも従事します。	とちぎリハビリテーションセンター、がんセンター	
作業療法士 (19人)		とちぎリハビリテーションセンター、岡本台病院	
管理栄養士 (20人)	病院における患者の栄養管理等のほか、健康福祉センター等で、県民の生活習慣病予防や健康増進のための指導、給食施設への栄養管理の指導などを行います。	県立病院、健康福祉センター	
栄養士 (県立学校勤務9人)	献立作成や調理場の衛生管理、栄養や食に関する指導を行います。学校では、子どもたちの成長をサポートします。 ※小中学校等勤務の栄養士は、勤務する学校等の属する市・町の職員になります。	特別支援学校、定時制高校	
栄養士 (小・中学校勤務177人)		市町立小・中学校、学校給食センター	
司書 (10人)	図書館において、各種図書館資料の選定、収集、分類、貸出しや読書案内、相談等の業務に従事し、利用者のニーズに対応したサービスを提供しています。	県立図書館	
保育士 (24人)	心身障害児総合通園センターにおける通園児の保育や、児童相談所での児童の生活援助、学習・体育指導などに従事します。	とちぎリハビリテーションセンター、児童相談所、那須学園	
P9に掲載 獣医師 (135人)	家畜伝染病対策をはじめとした家畜の保健衛生に関する防疫・試験研究や食肉検査、動物愛護指導、食品衛生指導などの業務を行います。	生活衛生課、畜産振興課、家畜保健衛生所、健康福祉センター、食肉衛生検査所、動物愛護指導センター、畜産酪農研究センター	
P9に掲載 警察行政 (464人(定数))	警察内の会計事務や情報管理、装備品の調達、鑑識業務、各種申請の受理審査業務等を行います。いずれも警察活動を推進する上で、重要な役割を担っています。	警察本部、警察署、運転免許センター、警察学校	
小中学校事務 (572人)	給与事務や各種手当の認定、予算の執行・管理を行います。学校運営を側面から支える仕事です。 ※小中学校事務職員は、勤務する学校の属する市・町の職員になります。	市町立小・中学校	

職員紹介

4ページに掲載したとおり、県庁には様々な職種の職員がいて、多種多様な行政課題に取り組んでいます。

それでは県庁で活躍している職員を紹介します。具体的な業務内容をイメージしたり、希望職種を検討したりする参考にしてください。

まず初めは、表紙のお二人の声です。



行政

齋藤 恵

Megumi Saito

産業労働観光部
産業技術センター
管理部
平成24年度採用



行政

藤本 貢平

Kohei Fujimoto

経営管理部
真岡県税事務所
課税課
平成23年度採用



① 60名近いセンター職員の給与支給や福利厚生に係る書類の審査を行っています。具体的には、扶養手当や住居手当の認定などの業務です。出産や引っ越しなどライフステージ上の様々な出来事で手当の支給額も変わります。そうした出来事を的確に把握し給与等に反映できるように、普段から職員の方々とのコミュニケーションに努めています。

② 安心して仕事のできる職場です。入ったばかりの頃、上司の方も担当業務で忙しいにもかかわらず、自分の業務を淡々と効率よくこなしながら、私に仕事を一から丁寧に教えていただきました。経験豊富でいつも冷静な上司は心強い存在であり、周りの方に恵まれているなど日々実感しています。

③ 県庁は思った以上に様々な職種の人と出会える場だということがわかりました。私の現在の職場は、多くの研究職の方が働く研究施設です。業務として色々な人々と関わり、つながりを持つことで、文系出身の私でも、あらゆる分野の情報や知識を共有したり、時に仲介役となり人同士をつなげたりすることができるので、業務の幅が広がっていくと思います。

④ 県の仕事は実に幅が広いものです。どんな業務であれ、県民一人ひとりの幸せや笑顔につなげるという前向きな目標を持って取り組めば、大きな意義を感じることができると思います。一緒に“とちぎ”の幸せを考えていきましょう!

①現在の担当業務を教えてください。

②職場の雰囲気はどのようなですか?



③県庁に入る前と後でイメージは変わりましたか。

④県職員を目指している方へのメッセージをお願いします。

① 不動産取得税の課税業務を担当しています。不動産取得税は、土地や家屋を取得したときに課税されるもので、不動産の取得状況の確認や課税額の決定、税の減額申請の対応などを行っています。また、新たに建築された家屋について、その評価額の算定業務も行っています。

② 職員間の交流も多く、温かい雰囲気の職場で社会人生活をスタートさせることができました。上司や先輩方は厳しくも優しい方ばかりで、経験のない私に対して、電話の応対から業務の応用知識まで丁寧に指導していただいたため、円滑に業務に取り組むことが出来ました。

③ 想像以上に業務の幅が広い上に細分化されていて、専門性の高さを感じました。また、県民の皆さんの普段の生活に密接に関わらなくてはならない業務が多く、常に県民目線に立った業務執行が求められ、公務員はサービス業であるということを改めて実感させられました。

④ 現在、公務員を取り巻く状況には厳しいものがあります。しかし、県政が担う役割は以前より増しており、重要な業務も多くなってきています。魅力ある栃木県をさらに発展させるために、多岐にわたる業務、広大なフィールドで皆さんのやる気や経験を活かしていただけたらと思います。

職種についてのアドバイス

○ここに掲載された職員の職種は毎年度募集があるとは限りません。また、これ以外の職種でも募集をする場合があります。採用試験の前に公表される「試験案内」で、募集職種や受験資格などを必ず確認してください。

○ほとんどの職種は、受験年齢を満たしかつ欠格事項に該当しなければ、誰でも受験することが可能です(受験年齢と欠格事項については、各試験の「試験案内」を御覧ください。)。出身学部等の制限はありません。ただし、ほとんどの職種で専門試験を課していますのでこれへの対応が必要です。また、薬剤師などのように受験に当たって免許の取得等が必要な職種もあります。

○一部の選考考査を除き同日に実施される試験において、複数の職種への受験申込みはできません。

○職種ごとに勤務場所の範囲やキャリアパスが異なる部分があります。県職員としてどんな業務に就きたいのかよく研究して、希望職種を決めてください。

ここからは、職種ごとに先輩職員を紹介します。

行政

齊藤 岳

Takeshi Saito

総合政策部 総合政策課
政策企画担当
平成12年度採用

異動経歴
H12～ 農地計画課 農地調整班
H15～ 鹿沼県税事務所 課税課
H19～ 外務省へ派遣
H20～ 同(在ブラジル日本国大使館)
H22～ 現所属



県民とともに“とちぎ”を元気に

現在の担当業務は？

県の重点戦略である「新とちぎ元気プラン」を着実に推進するため、プランに掲げたプロジェクトの現状評価や課題の抽出、取組の見直しと企画立案、予算等への反映というPDCAサイクルによるマネジメントを実施しています。

やりがいを感じるのは？

県政の課題を解決するためには、多くの部や課の職員と協議しなければなりません。時にはそれぞれの立場から意見が衝突することもあります。粘り強く調整を続け、対応策がまとまったときには、やりがいを感じます。

仕事柄、県庁の各課室との協議・調整が業務の中心となりますが、締切りを守る、連絡を密にする、相手からの要望にすぐ応えるなど、当たり前のことを当たり前に行うことがとても大切だと感じています。

省庁派遣でどんな経験を？

外務省に派遣され、在ブラジル日本国大使館で2年間勤務しました。日本の文化をブラジルに広める仕事をしていましたが、言葉も通じず(ポルトガル語)、食や習慣も違う国で、最初は戸惑うことばかり。しかし、「住めば都」で、最後はブラジルが大好きになりました。Obrigado!

あなたの声、県政に届けます

現在の担当業務は？

県民プラザ室では、県政へのご意見やご要望をお聴きしています。一口に県政と言っても分野は様々、お話を伺って初めて知る県の業務も多く、担当部署に的確にご意見ご要望を伝えるため、日々勉強です。

今まではどんな業務を経験？

県内総生産(GDP)を推計する業務や、介護保険施設の指導、仕事を探している方と人材を求める企業とのマッチング事業などを担当してきました。行政職は異動によって全く新しい分野の業務に携わります。仕事を覚えるまで大変なこともあります。その都度新たな出会いがあり、自分の引き出しが増えていくところが魅力です。

女性も働きやすい職場？

子どもの病気で休みをとらなければならないときに、「働ける日、働ける時間に頑張れ、後は周りがフォローする。」と声を掛けていただき、仕事と育児を両立させる勇気が生まれました。

県は女性が働き続けるためのサポート制度がとても充実しています。制度が整っているだけでなく、仕事とプライベートのどちらも大切にしている職員が多いことも、働きやすい環境であることの要因だと思います。

行政

井上 桂子

Keiko Inoue

県民生活部 広報課 県民プラザ室
平成10年度採用

異動経歴
H10～ 県立宇都宮工業高等学校
H13～ 統計課 統計分析担当
H16～ 高齢対策課 介護保険班
H20～ 労働政策課 雇用対策担当
H23～ 現所属



“とちぎ”とともに自分の可能性も広がります

現在の担当業務は？

道路や河川などの社会基盤を整備するために必要な公共用地を取得する業務を担当しています。土地を所有されている方のご自宅を訪問し、補償内容等を説明してご理解いただくことが、私の仕事です。

今までの経験で印象に残っていることは？

県民の方から相談を受け、相談者の方から「本当に助かりました。」と言われたことがありました。異動したばかりで慣れない業務に悩んでいた時期だったため、努力が報われた気がしました。

新しい業務に取り組むことは不安では？

県職員の仕事は非常に多岐にわたります。特に行政職の場合、数年ごとに未知の分野を体験することになります。最初は何もわからなくても、諦めずに努力すればやがて対応できるようになります。多種多様な業務に挑戦していく中で、自分の可能性を実感することができます。

行政

高瀬 清

Kiyoshi Takase

県土整備部 安足土木事務所 用地部
平成12年度採用

異動経歴
H12～ 栃木県税事務所 管理課
H13～ 栃木県税事務所 収税課
H16～ 住宅課 宅地指導担当
H19～ 障害福祉課 精神保健福祉担当
H22～ 現所属



薬剤師

五十嵐 康之

Yasuyuki Igarashi

保健福祉部 業務課 温泉・薬物対策担当
平成17年度採用

異動経歴

H17～ 安足健康福祉センター 環境保全課
H20～ 県西健康福祉センター 生活衛生課
H22～ 現所属



安心・安全な県民サービスを支える仕事

現在の担当業務は？

温泉の源泉や利用施設の許可・立入検査、温泉の各種調査等を通して、温泉資源の保護や温泉の適正利用、温泉による災害の防止を図る業務を行っています。源泉の立入検査は、山道を3時間進んだ先や急傾斜地を降りた先など、普段は見ることのできない場所での検査になり、印象深い業務です。

これまでにどんな業務を担当？

工場排水等が基準に適合するように指導する公害行政や、薬局、医薬品販売業者、美容室、クリーニング店等の許可・立入検査業務、さらに、献血の推進や骨髄バンクの普及啓発に関する業務も経験しています。

民間の薬剤師の仕事との違いは？

民間では、病院や薬局における調剤業務、製薬会社での研究やMRなどが主な仕事になりますが、県の薬剤師は、県立病院での調剤や試験研究機関での研究の他、医薬品関係の許認可業務など、幅広い業務を経験することができます。



化学

前野 優哉

Yuya Maeno

環境森林部 県北環境森林事務所 環境対策課
平成20年度採用

異動経歴

H20～ 保健環境センター 水環境部
H23～ 産業技術センター 食品技術部
H25～ 現所属



民間企業では味わえない魅力がここにある！

現在の担当業務は？

公害や廃棄物処理に関する許認可業務を担当しています。具体的には、事業者からの届出書の受理や申請書の審査をしています。さらに、工場や事業場の立入検査を行ったり、現場で技術的な指導も行っています。

これまではどんな業務を経験？

実験室での化学分析や試験研究といった研究職の業務を経験しました。特に、産業技術センターでは、原発事故への対応として、工業製品や食品の放射能検査を担当し、県産品の安全性を証明することで、県内企業の方々から感謝の言葉をいただきました。

県の化学職の特徴とは？

県の良好な環境を維持するとともに、未来に向けてより良いものとしていくために、政策立案から監視、試験研究、現場での指導まで、幅広い業務に携わることができます。



農業

中西 達郎

Tatsuro Nakanishi

農政部 農業試験場 いちご研究所
平成19年度採用

異動経歴

H19～ 塩谷農業振興事務所 園芸課
H22～ 現所属



日本一の「いちご王国」を守り育てます!!

現在の担当業務は？

いちご研究所は、新品種の育成や新技術の開発、消費動向の調査分析、生産者への技術研修などを担ういちごの総合的な研究開発拠点です。私は一年を通して収穫できる品種、ビニールハウス内の環境制御技術、新しい栽培システムの開発などを担当しています。期待の新品種「スカイベリー」の開発にも携わりました。県では、平成26年度冬からの本格出荷に向けて、「スカイベリー」を「いちご王国とちぎ」を支えるスターに育てていきます。

印象に残っていることは？

農業振興事務所でいちご栽培を始めたばかりの農家に栽培支援をしたとき、私自身も経験が浅く知識も乏しかったのですが、安定して収穫できることを目指し、栽培技術向上のために農家と一緒に勉強しました。予想以上の収穫につながったと感謝され、達成感を得ることができました。

どんなところにやりがいを感じる？

県が開発した品種や栽培技術が農家の生産現場に普及されていくことにやりがいを感じています。とちぎの農業を元気にするため、安全・安心で品質の良い農産物の生産振興に取り組んでいます。



畜産

舘野 綾音

Ayane Tateno

農政部 畜産振興課 環境飼料担当
平成21年度採用

異動経歴

H21～ 酪農試験場 飼養技術研究室
H23～ 畜産酪農研究センター 乳牛飼養研究室
H25～ 現所属



元気なとちぎの畜産を支えます！

現在の担当業務は？

家畜の飼料に関する業務を担当しています。畜産農家の経営安定を図る上では飼料費の低減が重要であり、自給飼料増産のための施策立案や助成を行っています。また、安全・安心な畜産物生産のため、飼料作物の放射性物質検査の計画づくりや配合飼料等の立入検査結果の公表なども行っています。

前の職場ではどんな経験を？

乳牛に給与する飼料の種類等の違いが牛の健康や乳量・乳成分にどのように影響するのかを研究していました。他県の研究機関や大学等との共同研究などもあり、自分の知識の幅も広がりました。

県の畜産職の魅力とは？

本県は家畜の飼養頭数が乳牛2位、肉牛6位、養豚8位という畜産県です。家畜の生産能力向上や低コスト化など経営の安定化を図るために畜産農家を支援したり、「とちぎ和牛」など畜産物のブランド力向上や6次産業化の取組を推進したりするなど、とちぎの畜産振興を支えていることにやりがいを感じます。



※平成24年度から「農業土木」と「土木」を統合した「総合土木」という区分で採用試験を実施しています。

総合土木 (農業土木)

堀 順一

Junichi Hori

農政部 下都賀農業振興事務所 整備課
平成16年度採用

異動経歴

H16～ 芳賀農業振興事務所 計画課
H19～ 下都賀農業振興事務所 整備課
H22～ 農村振興課 指導検査班
(H23.12～H24.9 宮城県仙台地方振興事務所へ派遣)
H25～ 現所属



総合土木 (土木)

町野 司宝

Shiho Machino

県土整備部 鹿沼土木事務所 整備第一課
平成12年度採用

異動経歴

H12～ 日光土木事務所 河川砂防課
H15～ 鹿沼土木事務所 道路整備課
H18～ 大田原土木事務所 企画調査課
H21～ 道路整備課 整備計画担当
H24～ 現所属



とちぎのおいしい食を支える農業基盤づくり

現在の担当業務は？

農地の大区画化や農道・用排水路の整備を担当しています。また、意欲ある農家が効率よく農地を使えるよう農地の利用集積を支援しています。農業農村整備事業では、農業用水路の一部に生態系保全水路工を取り入れるなど、生き物の生息環境に配慮した取組も行っています。

仕事をする上で心がけていることは？

ほ場整備では、農家がおいしい作物を生産できるようにするための農業生産基盤の整備と農村の生活環境の改善を念頭に置き、現場の農家の声に耳を傾け、豊かな自然環境にも気を配りながら進めています。

印象に残っていることは？

宮城県仙台地方振興事務所に派遣され、東日本大震災で被災した農地・農業用施設・農地海岸の復旧に関する設計、積算、工事管理等に従事しました。津波による被災で絶望感が漂う中、ガレキ撤去や除塩作業等に取り組み、一部の農地では作物を収穫できるまでに復旧することができました。



緑の下の力持ち 社会は土木で溢れている

現在の担当業務は？

老朽化した橋梁の架け替えや、歩道整備の設計、工事発注、監督業務を行っています。作業服が私の制服です。現場でかぶるヘルメットも、多くの人に「似合っている」と褒めて(?)いただきました。

やりがいを感じることは？

土木は英語で「Civil Engineering」(市民のための工学)とも言います。土木事業は、住民のためのもの。地域の方々から直接期待の声を聞くと、改めて県民から託された大切な仕事をしっかりやろうと感じます。

県の総合土木職の魅力とは？

調査設計・住民説明・用地取得・工事施工・維持管理と多くの人がバトンをつないで作り上げ保全している社会資本。県の総合土木職はそうしたバトンリレーの中に入って様々な業務を担当します。地域に役立つものづくりに「プランナー」として、あるいは「プレイヤー」として関わることができる魅力的な仕事です。



林業

墨谷 祐子

Yuko Sumiya

環境森林部 自然環境課 自然保護担当
平成10年度採用

異動経歴

H10～ 矢板林務事務所 事業第三課
H14～ 今市林務事務所 治山林道課
H17～ 林業センター 研究部
H23～ 現所属



建築

吉瀬 健二

Kenji Kise

県土整備部 建築課 耐震推進担当
平成16年度採用

異動経歴

H16～ 大田原土木事務所 建築指導担当
H18～ 宇都宮土木事務所 工事課
H21～ 技術管理課 技術調整担当
H24～ 現所属



とちぎの豊かな自然環境を未来につなぐ

現在の担当業務は？

「生物多様性ととちぎ戦略」に基づくプロジェクトとして、ミヤコタナゴなど絶滅のおそれのある種の保全に関わる業務や、生物多様性の宝庫といわれる里山林の活用と保全に関わる業務を担当しています。

種の保全は、地域の方々をはじめ、国、市町、大学などと連携し、一体となって活動に取り組んでいます。

これまでに経験した業務は？

国立公園内の歩道の整備や、治山施設の整備などを経験しました。また、奥日光におけるシカの食害による植生への影響調査なども担当しました。

どんなところにやりがいを感じる？

森林を育み生態系を保全していく仕事は、すぐには成果の出ない息の長い取組になります。このような未来のとちぎづくりの礎となる仕事ができるのは、行政ならではの取組だと思います。100年後に評価されるような仕事になるよう、日々努力しています。



建築物を通して県政全体と関わられます

現在の担当業務は？

庁舎や県立高校などの県有施設の耐震化に取り組んでいます。また、民間住宅の耐震化のための補助金に関する業務も担当しています。耐震に関する講習会の講師をすることもあります。

仕事をする上で心がけていることは？

県では、庁舎、学校、スポーツ施設、県管住宅など多くの施設を所有・管理しています。施設を管理する部署と連携して、技術者として効率的な整備を提案していくことで、施設の利用者である県民の皆さんに信頼されるよう努力しています。

県の建築職の魅力とは？

公共ならではの大規模な事業に技術者の立場で計画段階から関われる魅力があります。

さらに、民間と異なり、設計・工事はもちろん、その後の維持管理や改修といったところまで担当しますので、多くの人が利用する建築物と長期的な関わりを持つことができます。



心理

多田 牧子

Makiko Tada

保健福祉部 ちぎりハビリテーションセンター
発達・高次脳機能障害支援課
平成14年度採用

異動経歴

- H14～ 県南児童相談所 判定指導課
- H17～ 中央児童相談所 判定指導課
- H20～ ちぎりハビリテーションセンター 言語療法・臨床心理科
- H23～ 中央児童相談所 判定指導課
- H25～ 現所属



一緒に悩み、こころに寄り添う職員として

現在の担当業務は？

発達障害者支援センター「ふぉーゆう」に所属し、発達障害児・者とそのご家族、関係機関などからの様々な相談に応じています。必要に応じ、関係機関を紹介したり、心理検査を実施したりします。また、発達障害をより多くの人に理解してもらうため、県民を対象としたセミナーの開催なども行っています。

印象に残っていることは？

児童相談所に勤務しているときに、虐待を受けた子から、「今まで大人を信用してなかったけど、児童相談所の先生に出会って初めて大人を信用できた。」と言われたことです。支援の対象となる方から信頼されることの大切さを実感しました。

県の心理職の特徴は？

心理職としての専門性を活かせる分野が多岐にわたることだと思います。異動により様々な分野を経験することは戸惑いもありますが、多面的な物の見方や考え方を学ぶことができ、専門職としての幅が広がります。



保健師

手塚 葉子

Yoko Teduka

保健福祉部 安足健康福祉センター 健康支援課
平成14年度採用

異動経歴

- H14～ 佐野健康福祉センター 保健衛生課
- H18～ 県西健康福祉センター 健康福祉課
- H22～ 安足健康福祉センター 総務企画課
- H24～ 現所属



県民と地域の健康力アップを支えます！

現在の担当業務は？

精神保健福祉業務を担当しています。当事者やご家族への相談支援が主ですが、そのほかにも、医療機関や社会福祉機関、市役所等の関係機関とのネットワークを活かし、県民向けの講演会や支援者向けの研修会、連絡会議などを開催して、精神保健福祉施策や自殺対策の推進を図るとともに、サービス体制の整備を行っています。

印象に残っていることは？

東日本大震災の時に多くの被災者が本県に避難して来られました。管内の被災状況や避難者の状況に合わせ、市と連携を図りながら、職員一丸となって、県民や避難者の不安を軽減するための相談支援や風評被害への対応に当たったことが印象に残っています。災害などの非常時に頼りにされるのは、やはり行政です。職務の重要性をひしひしと感じました。

どんどころにやりがいを感じる？

健康福祉センターには担当ごとに保健師が配置されているに加え、保健師以外の様々な専門職も配置されています。メンタルヘルスや感染症予防、健康危機管理などの業務を通して、多職種が協働しながら地域づくりに貢献できるのが県の保健師の魅力だと思います。



獣医師

橋本 大樹

Hiroki Hashimoto

保健福祉部 生活衛生課 食品安全推進班
平成15年度採用

異動経歴

- H15～ 県南健康福祉センター 生活衛生課
- H18～ 県北食肉衛生検査所 検査課
- H21～ 県東健康福祉センター 生活衛生課
- H24～ 現所属



獣医師の知識を生かして食の安全を守ります

現在の担当業務は？

食中毒が発生した際の原因や苦情のあった食品などについて調査し、その結果を取りまとめる業務を担当しています。特に、県外の住民や施設が関係する広域的な事案の場合には、県外の自治体との連絡調整を行っています。

食中毒事件の調査は原因究明や被害の拡大防止のために迅速な対応が求められますが、事件ごとに状況が異なるため、毎回貴重な経験を積むことができます。

今までどんな業務を担当？

健康福祉センターでは、食品衛生監視員として、飲食店や食品製造工場等の営業許可や監視指導業務を経験しました。

また、食肉衛生検査所では、と畜検査員として、と畜場の衛生指導業務に携わりました。

県の獣医師の特徴とは？

県の獣医師は、家畜伝染病対策をはじめとした家畜の保健衛生対策に従事する者のほか、私のように公衆衛生分野で働く者もいます。全国でもそうした獣医師は多く、研修会等でお互いの研究成果を出し合い、互いに知識を深め合ってそれぞれの自治体の施策に活かしています。



警察行政

照井 匠

Takumi Terui

警察本部 警務部 会計課
平成16年度採用

異動経歴

- H16～ 鳥山警察署 警務係
- H18～ 警務部 警務課
- H25～ 現所属



治安維持に貢献できる！

現在の担当業務は？

会計課で出納業務を担当しています。出納業務は、警察活動に必要な委託業務やリース契約などを公正、適正かつ経済的に執行することで、警察活動の基盤を支える業務です。

印象に残っていることは？

警務課の人事係のときに、県警で初めての体験型採用説明会を開催することになり、実施方法について上司や同僚と深夜になるまで議論して、チームが一つとなって説明会を成功させることができたことです。

さらに、その説明会の参加者が、警察官採用試験を受験し、採用に至ったときには、大きな達成感が得られました。

仕事をする上で大切なことは？

警察という組織の一員となり、「組織の仲間は裏切らない」ということを強く感じます。一人が困っていればみんなが助け、またその一人がみんなを助ける組織です。警察の力はそうした組織力であり、組織は人で成り立っています。個々人の特徴を活かし、お互いを尊重し、良いチームワークを築くことが、仕事を進める上で一番大切なことだと思います。



インターンシップ……県の仕事を体験



学生のインターンシップ受入れを行っています。平成25年度は行政職向け11所属、技術職向け31所属で募集を行いました。

データ集計や資料作成、会議の準備や現地調査など、所属によって様々なメニューが用意されています。

県庁を身近に感じ県の仕事を理解するのに、またとない機会です。

参加申込みは在籍する教育機関を通じて受け付けます。実習テーマ、期間、募集する学生の専攻分野など、詳しくは経営管理部人事課のホームページを御覧ください。

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/b02/pref/zaiseijinji/jinji/internship-bosyu.html>

平成25年度受入所属(行政職向け・技術職向け)

○総合政策部	地域振興課
○経営管理部	文書学事課
○県民生活部	県民文化課
○環境森林部	環境森林政策課、廃棄物対策課、林業センター
○保健福祉部	ねりんピック推進室、健康福祉センター、動物愛護指導センター、食肉衛生検査所
○産業労働観光部	工業振興課、経営支援課、労働政策課、産業技術センター、県央産業技術専門学校
○農政部	農政課、農業試験場、水産試験場、家畜保健衛生所、畜産酪農研究センター
○県土整備部	監理課、道路保全課、河川課、都市計画課、都市整備課、建築課、土木事務所、下水道管理事務所、公園事務所
○企業局	電気課
○教育委員会事務局	スポーツ振興課

平成25年度行政職向けインターンシップの例

日	午前	午後
初日	オリエンテーション/県政講義	所属実習
第2日	所属実習	所属実習
第3日	所属実習	所属実習/先輩との交流会
第4日	所属実習	所属実習
最終日	所属実習	報告会

平成25年度参加者の感想

- 職員の皆様のサポートもあり、実際の県庁実務を充実した形でこなすことができ、とても良かったです。(行政職向け参加者)
- 河川の現地調査や、具体的な案件の審査を行うなど、土木職の業務の一端をうかがい知ることができ、とても貴重な体験でした。(技術職向け参加者)
- 実際に木を伐るといった貴重な体験とともに、多くの職員の方々とお話する機会をいただき、皆様の熱意や責任感がひしひしと伝わってきました。(技術職向け参加者)

※インターンシップ参加の有無は、採用試験の可否には一切関係がありません。

実習期間と採用試験の日程が重なる場合、インターンシップに参加することはできませんので、申込みの際は日程をご確認ください。

研修制度……入庁後のスキルアップ

県職員には高度の専門性や様々なスキルが要求されますが、それらを養成する研修が充実しています。

栃木県(教育部門及び警察部門を除いた一般部門)では、自己啓発支援、職場研修、研修所研修、派遣研修の4本柱により職員研修を実施しています。

1 自己啓発支援

県行政に関連する事項について自主的に研究を行う職員のグループに対し、研究活動に要する経費の一部を助成するなど、職員の自己啓発に対して支援を行っています。また、各種教育機関が実施する通信教育を団体割引価格で受講することができる制度や、自治大学校がインターネット上に開設した講座をオンラインで受講することにより、地方自治制度や地方税財政制度について習得することができるe-ラーニング研修も用意されています。

2 職場研修

いわゆるOJTです。新採用職員は配属された職場で実務に携わりながら、事務処理のスキルを身につけていくことになります。また、県は所管する法令・制度が多岐にわたっているため、それぞれの部局等において、所掌する事務に係る研修を実施しています。

3 研修所研修

自分の所属を離れ、受講者が本庁舎北側の研修館等に集まって受講する研修です。大きく、必修研修と特別研修に分けられます。

○**必修研修** 新採用職員研修などの**基本研修**と、各階層に期待される能力を昇任前に開発することを目的とした**能力開発研修**があります。このうち、新採用職員については、4月に10日間の前期研修、9月に3日間の後期研修が実施されます。研修では、様々な職種の新採用職員が一堂に集い、**知事講話**や先輩職員との意見交換を始め、県行政に関する講義、ビジネスマナー等、様々なメニューを通して、県職員としての基本的な知識・スキルを習得します。宿泊研修やグループワークを通して、同期入庁者とのパイプを太くできることも研修の効果として期待されています。

○**特別研修** 政策形成能力の向上をめざし、マーケティング手法や政策法務についての能力を養成する**政策形成能力向上講座**等を開講しています。

4 派遣研修

中央省庁における政策形成に関する業務や民間企業の経営感覚にもとづく事業展開など、県内部では体験できない業務に従事することにより能力の開発を図る研修です。**中央省庁派遣研修**、**民間企業等派遣研修**、**県外自治体派遣研修**、**県内市町村派遣研修**があり、いずれも**職員公募制**により派遣希望者を募集しています。(職員公募制については、12ページ参照)



県庁の人事制度 Q&A

Q1 給与について教えてください

A 初任給は、右の表のとおりとなっています(平成25年4月現在)。
勤務経験がある場合や、大学院を修了している場合には、勤務経験年数や学歴に応じて、一定の基準により加算されます。
要件に応じて、**扶養手当、地域手当、通勤手当、超過勤務手当**などが支給されます。また、民間のボーナスにあたるものとして、**期末・勤勉手当**が6月と12月の年2回、合計で3.95ヵ月分支給されます(在職期間等によって異なります)。
原則として年に1回、前年度1年間の勤務成績に応じて**昇給**があります。

修士課程 修了者	研究職	212,900円
	医療職(2)	197,600円
6年制大学卒	医療職(2)	204,000円
4年制 大学卒	行政職	178,800円
	研究職	194,800円
短大卒	医療職(2)	184,500円
	行政職	155,700円
高校卒	行政職	144,500円

研究職は、試験場、研究所等勤務で、試験研究又は調査研究業務に従事する化学、農業、林業等に、医療職(2)は、病院、保健所等に勤務する薬剤師、栄養士、臨床検査技師等に適用。

Q2 勤務時間はどうなっていますか

A 勤務は原則として、午前8時30分から午後5時15分までで、正午から午後1時までが休憩時間となっており、1日の勤務時間は7時間45分です。職員のワークライフバランスの確保や通勤混雑の緩和、環境負荷の低減等を目的とした**オフピーク通勤**(時差出勤)を選択することもできます(一部の職場を除く)。
完全週休2日制となっており、一部の施設等に勤務する職員等を除いて、土曜日と日曜日は週休日となっています。

Q3 休暇は何日取れますか

A 次のような休暇が設けられています。

- 年次休暇** 年度ごとに20日が付与されます。1時間単位で取得することも可能です。一般部門(教育部門及び警察部門以外の所属。以下同じ。)における平均取得日数は、11.0日(平成24年度)です。
- 傷病休暇** けがや病気のため勤務できない場合に取得することができます。一般的なけがや病気の場合、上限は90日です。
- 特別休暇** 次のような特別の事由により勤務しないことが相当と認められる場合に取得できます。
[ボランティア活動、結婚、出産、妻の出産、子の養育、夏季]
- 介護休暇** 要介護者を介護する場合に取得できます。

Q4 育児を行いながら仕事を続けられますか

A 率先して少子化対策を進める観点から、仕事と子育ての両立を支援する制度の充実を図っています。
産前産後休暇(産前産後それぞれ8週間以内)、**育児休業**(子が3歳に達する日まで)のほかにも、**育児のための部分休業**(小学校就学前、1日2時間以内)や**短時間勤務制度**(小学校就学前、希望する日及び時間帯において短時間勤務)などがあります。
また、男性職員の育児参加を促進するための「**男性職員の育児参加プログラム制度**」などもあります。
一般部門における育児休業の取得率(その年度に取得可能となった職員のうち実際に取得した職員の割合)は、女性職員は100.0%、男性職員は2.2%でした(平成24年度)。

Q5 福利厚生は充実していますか

A 地方職員共済組合が、短期給付(健康保険)と長期給付(年金)のほか、次のような事業を実施しています。

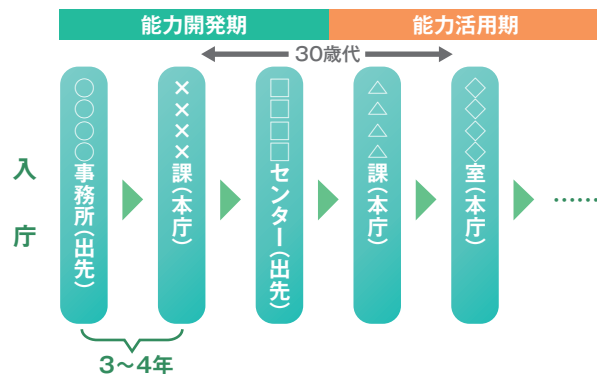
- 健康管理事業**
定期健康診断、人間ドック、脳ドック、心の健康相談、歯の健康相談、禁煙サポート対策事業などを実施しています。
- 元気回復事業**
各種スポーツ大会、宿泊利用助成、サークル運営助成などを行っています。
- 貸付事業**
住宅貸付(住宅購入等)、普通貸付(生活用品の購入等)、災害貸付(災害復旧)、特別貸付(入学、結婚、葬祭等)などの資金の貸付を行っています。
公務災害に認定された場合には、様々な補償が受けられます。
家族で入居する職員住宅のほか、独身の方でも入居可能な職員住宅もあります。
このほか、地域ごとに組織された福利厚生協議会が、様々なレクリエーション事業を実施しています。

Q6 配属先はどのように決められますか

A 配属先は、職種（行政職・技術職）や能力、適性、意欲のほか、通勤事情なども考慮して決定されます。

Q7 異動はありますか

A 職種による違いがありますが、行政職の場合、およそ3年から4年のサイクルで異動があります。30歳代前半までは能力開発期として、幅広い能力開発や自己の適性の発見ができるように、本庁・出先機関で異なる分野を経験できるように異動します。30歳代後半以降は能力活用期とし、それまでの職務経験や本人の意欲、適性等を重視して、能力を最大限発揮できるように配置されます。



Q8 中央省庁や民間企業へ派遣されることもありますか

A 中央省庁における政策形成に関する業務や民間企業の経営感覚にもとづく事業展開など、県内部では体験できない業務に従事することにより能力の開発を図ることを目的とした研修を実施しています。中央省庁派遣研修、民間企業等派遣研修、県外自治体派遣研修、県内市町村派遣研修があり、いずれも職員公募制（業務選択型職員公募制度）により派遣希望者を募集しています。

平成25年度における職員の主な派遣先は、次のとおりです。

- 内閣府、総務省、外務省、厚生労働省、農林水産省、環境省
- 全国知事会、東京都、新潟県
- (株)足利銀行、サントリーピア&スピリッツ(株)、東日本旅客鉄道(株)、日産自動車(株)、東京海上日動火災保険(株)
- 県内14市町

Q9 異動の希望は聞いてもらえるのですか

A 毎年1回、希望する職場や職務内容を所定の様式に記入して所属長に提出し、その内容について所属長と面談する制度を設けています。自分のキャリアプランについて所属長からアドバイスを受けるとともに、異動の希望を申告することができます。

また、重要な政策課題や県民サービスの向上につながる政策課題等において、職員公募を実施しています。

職員公募は、職員の意欲と能力を最大限に発揮できる機会を確保するため、従来の枠組みを超えた政策を提案した職員を、その提案に関連する業務のポストに登用する政策提案型職員公募制度と、県が直面する重要な政策課題において職員を公募し、応募者の中から適任者を登用する業務選択型職員公募制度の2種類があります。

平成25年度は、業務選択型職員公募制度により、次の業務の担当者を公募しました。

- 中央省庁派遣（環境省）、民間企業等派遣（足利銀行）、県外自治体派遣（新潟県）、県内市町村派遣、ICT推進（電子県庁の実現）、県民協働推進（NPO、ボランティアとの総合調整）、経済分析（県民経済計算と産業連関表作成）、全国規模の祭典開催準備（ねんりんピックの企画・運営）、児童虐待防止、香港駐在員、財務会計事務検査、企業誘導（産業団地分譲）、監査

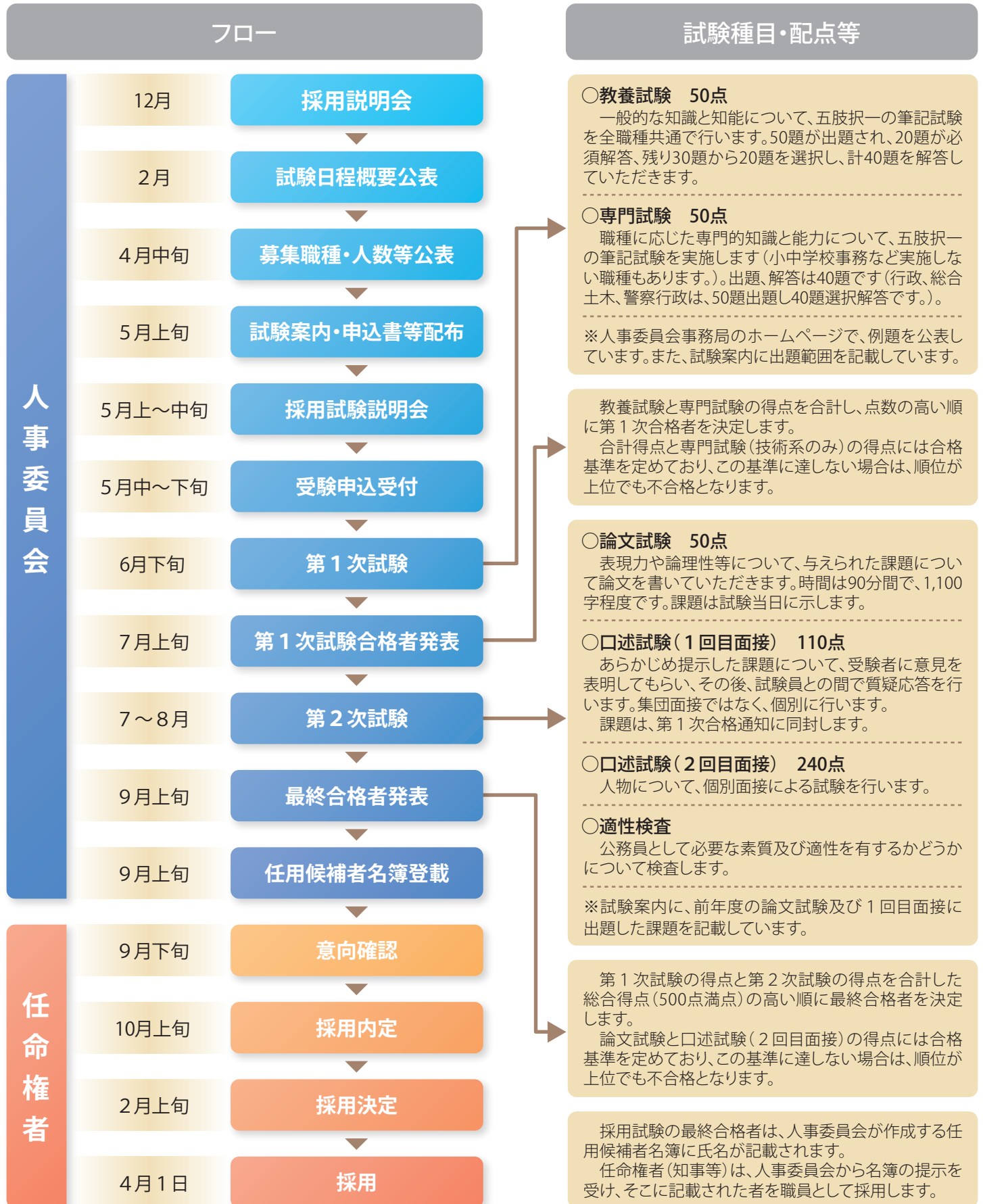
Q10 どのように昇任するのですか

A 昇任は、職員の能力や勤務成績、経験年数を総合的に評価して行われます。行政職も技術職も基本的には同様です。



採用までの流れ

平成25年度大学卒業程度採用試験を例に説明します。
試験の種類や実施年度によって異なる場合がありますので、試験案内で確認してください。



栃木県職員等過去5年間の募集状況 (平成21～25年度)

平成25年度栃木県職員等採用試験・ 選考考査実施状況

【大学卒業程度】

職 種	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
行 政	50名程度	55名程度	45名程度	55名程度	60名程度
業 剤	6名程度	4名程度	4名程度	5名程度	3名程度
学 術	1～2名	3名程度	3名程度	5名程度	5名程度
農 業	3名程度	1～2名	1～2名	1～2名	8名程度
畜 産	—	—	1～2名	1～2名	1～2名
林 業	—	1～2名	1～2名	1～2名	7名程度
土 木	5名程度	8名程度	8名程度	—	—
総 合 士 木	—	—	—	18名程度	30名程度
建 築	5名程度	5名程度	3名程度	4名程度	4名程度
電 気	—	3名程度	4名程度	1～2名	1～2名
機 械	—	1～2名	3名程度	1～2名	3名程度
心 理	3名程度	1～2名	3名程度	1～2名	1～2名
水 産	—	1～2名	1～2名	—	—
警 察 行 政	14名程度	10名程度	7名程度	15名程度	15名程度
小 中 学 校 事 務	8名程度	8名程度	17名程度	18名程度	13名程度

【大学卒業程度】

職 種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
行 政	760	595	170	65	9.2
業 剤	7	4	4	3	1.3
学 術	63	53	15	5	10.6
農 業	71	63	24	10	6.3
畜 産	19	15	8	2	7.5
林 業	34	24	12	7	3.4
総 合 士 木	84	66	38	31	2.1
建 築	18	11	8	5	2.2
電 気	36	26	9	2	13.0
機 械	24	19	8	4	4.8
心 理	33	28	5	1	28.0
警 察 行 政	113	91	29	14	6.5
小 中 学 校 事 務	405	332	39	14	23.7

【高校卒業程度】

職 種	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
行 政	10名程度	5名程度	5名程度	5名程度	5名程度
建 築 (警 察 本 部)	1名	—	—	—	—
警 察 行 政	3名程度	10名程度	1～2名	3名程度	8名程度
小 中 学 校 事 務	5名程度	5名程度	7名程度	6名程度	4名程度

【高校卒業程度】

職 種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
行 政	88	75	15	5	15.0
警 察 行 政	48	45	23	13	3.5
小 中 学 校 事 務	46	41	11	4	10.3

【資格・免許職】

職 種	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
保 健 師	8名程度	3名程度	6名程度	8名程度	3名程度
臨 床 検 査 技 師	3名程度	3名程度	3名程度	1～2名	1～2名
診 療 放 射 線 技 師	—	1～2名	1～2名	—	—
理 学 療 法 士	1～2名	—	1～2名	1～2名	—
作 業 療 法 士	1～2名	1～2名	1～2名	—	1～2名
管 理 栄 養 士	—	1～2名	—	1～2名	—
栄 養 士 (県 立 学 校)	1～2名	—	—	—	—
栄 養 士 (小 中 学 校)	3名程度	5名程度	10名程度	5名程度	1～2名
司 書	1～2名	—	—	1～2名	—
保 育 士	1～2名	3名程度	1～2名	1～2名	1～2名

【資格・免許職】

職 種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
保 健 師	35	33	8	4	8.3
臨 床 検 査 技 師	16	13	5	1	13.0
作 業 療 法 士	4	4	4	2	2.0
栄 養 士 (小 中 学 校)	64	55	5	1	55.0
保 育 士	14	10	8	2	5.0

【社会人対象】

職 種	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
総 合 士 木	—	—	—	—	5名程度
建 築	—	—	—	—	1～2名

【社会人対象】

職 種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
総 合 士 木	30	25	14	—	—
建 築	4	4	3	—	—

平成25年11月現在で試験実施中のため掲載していません。

【選考考査】

職 種	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
言 語 聴 覚 士	1～2名	—	—	—	—
職 業 訓 練 指 導 員 (機 械)	—	1～2名	1～2名	1～2名	1～2名
獣 医 師	6名程度	5名程度	5名程度	5名程度	5名程度
学 芸 員 (民 俗 学)	—	—	1名	—	—
操 縦 士 (回 転 翼 航 空 機)	1名	—	—	—	—
埋 蔵 文 化 財 発 掘 調 査 技 術 者	1名	—	—	—	—
博 物 館 資 料 専 門 員 (昆 虫)	—	1名	—	—	—
博 物 館 資 料 専 門 員 (古 生 物 学)	—	—	—	—	1名
犯 罪 鑑 識 技 術 者 (法 医)	—	—	1名	—	—
犯 罪 鑑 識 技 術 者 (物 理)	1名	1名	—	—	—
犯 罪 鑑 識 技 術 者 (化 学)	—	—	—	—	1名
心 理 カ ウ ン セ ラ ー	—	—	1名	—	—
行 政 (身 体 障 害 者 対 象)	4名程度	4名程度	4名程度	5名程度	6名程度
警 察 行 政 (身 体 障 害 者 対 象)	—	—	1～2名	1～2名	1～2名
小 中 学 校 事 務 (身 体 障 害 者 対 象)	1～2名	1～2名	1～2名	1～2名	1～2名

【選考考査】

職 種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
職 業 訓 練 指 導 員 (機 械)	3	2	1	1	2.0
獣 医 師	10	9	8	4	2.3
博 物 館 資 料 専 門 員 (古 生 物 学)	21	21	5	—	—
犯 罪 鑑 識 技 術 者 (化 学)	29	14	5	1	14.0
行 政 (身 体 障 害 者 対 象)	16	15	13	—	—
警 察 行 政 (身 体 障 害 者 対 象)	10	10	8	—	—
小 中 学 校 事 務 (身 体 障 害 者 対 象)	10	9	7	—	—

平成25年11月現在で試験実施中のため掲載していません。

この表に記載のない次の職種については、 ●看護師 栃木県保健福祉部医事厚生課 TEL 028-623-3158
各担当課にお問い合わせください。 ●児童自立支援専門員 栃木県保健福祉部保健福祉課 TEL 028-623-3088

栃木県人事委員会のホームページでは、次のような情報を掲載しています。
是非、アクセスしてみてください。

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/k02/pref/saiyou/kenshokuin/top.html>

栃木県職員採用

検索



主な掲載情報

説明会案内、試験日程、試験案内・申込書、合格者番号・試験実施結果、
採用Q&A、試験問題の例題、インターネット申込み